

成果指標				
成果指標	施設有効利用の拡大と、施設維持管理の強化を図る。			
指標設定の考え方	使用者のニーズに応えるため、安全で快適な施設管理運営を図ると共に、経費削減に努める。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	0	0	0	0
実績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	2	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	2	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	この施設は耐震補強及び空調施設の更新が必要であるが、改修には多額の費用が必要となるため、費用対効果も含めて、検討する必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	築38年余が経過した施設であり、平成25年の耐震診断では耐震性不足が指摘されている。耐震改修には多額の費用を要することから、施設利用者の状況把握のうえ、今後の整備方針等について検討が必要である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	一次評価者の「整備方針について検討が必要である。」の課題認識において、施設の必要性について地域の意見も踏襲する必要がある。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。